

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	08	0403	民俗芸能伝承支援事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	4	民俗芸能の伝承			
目的	民俗芸能の保存伝承					
対象	民俗芸能を伝承する団体及びその伝承者、後援会等の支援者、地域住民					
意図	伝承者の育成を支援し芸能の保存と地域への人の定着をはかる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○郷土芸能鑑賞会の開催 花巻市郷土芸能鑑賞会 花巻市青少年郷土芸能フェスティバル 古民家活用郷土芸能鑑賞会 早池峰岳神楽公演 ○民俗芸能全国組織への参加 全国民俗芸能保存振興市町村連盟（加盟全国163市区町村、花巻市長が副会長職を務める）						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	○ 実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛	補助・助成		○ 委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	郷土芸能の公演事業数	回	計画	4	4	
			実績	4	4	
②	地域づくり交付金により郷土芸能の支援を行っている地域コミュニティ会議の数	地区	計画	27	27	
			実績	13	12	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	郷土芸能公演事業の入場者数	人	目標	1,800	1,800	
			実績	1,500	1,330	
②	指定無形民俗文化財の数（維持保存されている数）	件	目標	55	56	
			実績	55	55	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
毎年開催している事業として、花巻市郷土芸能鑑賞会、花巻市青少年郷土芸能フェスティバル、古民家活用郷土芸能鑑賞会、岳神楽鑑賞会を行ったが、その内の花巻市郷土芸能鑑賞会と古民家活用郷土芸能鑑賞会が、他地区で行われた郷土芸能等のイベントと重なり、入場者数が目標値を下回った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	鑑賞会事業は市の主催事業であり、市内各地域を代表する民俗芸能や、また学校教育の一環として郷土芸能を積極的に取り入れている多くの小学校が出演している。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	地域コミュニティ会議や小中学校等が、積極的に芸能保持団体ならびに伝承者を支援することで、発表の機会の創出、保存意欲の向上につながる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	市の人口が年々減少傾向にある中で、青少年による芸能伝承活動に対する積極的な支援が、地域発展の支えとなっていることから、経費の削減は地域コミュニティの沈滞を招き、市にとっても大きなマイナスイメージとなる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市の広報紙やホームページ、各地域の振興センターや公共施設等を通じ、公平な情報の提供に努めている。鑑賞会事業の出演にあたっては、地域バランスを考慮しながら市内各地域の民俗芸能団体に呼びかけを行い、公平性に努めている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
郷土芸能の保存と伝承者の育成のために、鑑賞会事業を行い、伝承者の育成に成果があった。又、鑑賞会事業に一関市・盛岡市内の郷土芸能団体も招き交流を行い、市内芸能団体の意欲の向上が図られた。 幸田神楽の衣装や道具の劣化が著しいため、文化庁へ平成26年度文化芸術振興費補助金申請を行い、補助金（2,780,000円）が交付となり、衣装を新調することが出来た。 郷土芸能の伝承のため、大迫郷土文化保存伝習館で早池峰岳神楽公演を行い、岳神楽保存会及び岳地区との共同開催によって、芸能の伝承支援のみならず、地域振興にも寄与された。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	08	0403	民俗芸能伝承支援事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,302	2,281		△ 21
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他		35		35
	一般財源	2,302	2,246		△ 56

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	-------------------------------	-----------------

部経営方針における目標

地域の歴史や文化財、民俗芸能の保護と活用

事業開始の背景・経緯

民俗芸能後継者の育成を図り、また、市民が親しく民俗芸能に接し、理解を深め、保存伝承活動の地域への定着支援のため、民俗芸能発表機会創出の事業を始めた。

事業概要

- 郷土芸能鑑賞会の開催
花巻市郷土芸能鑑賞会
花巻市青少年郷土芸能フェスティバル
古民家活用郷土芸能鑑賞会
早池峰岳神楽公演
- 民俗芸能全国組織への参加
全国民俗芸能保存振興市町村連盟（加盟全国163市区町村、花巻市長が副会長職を務める）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・鑑賞会事業を継続することで、芸能伝承者のすそ野を拡大し、芸能の継承に対する意欲向上と地域への定着を図る。
- ・指定の有無にかかわらず市内各地域で伝承されている民俗芸能の活動状況を把握する必要がある。
- ・古民家を活用した神楽鑑賞会は新花巻駅そば、また宮沢賢治記念館を核とした文教エリアゾーンにあるロケーションの良さから、観光サイドの活用も考えられる。

担当部署 部名 教育部 課名 文化財課 担当係長 大内典子 内線 9-30-353

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

